NIE実践報告

1．タイトル：人の思いを受け止め、自分の考えを伝える

2．学校名

大阪府高槻市立如是中学校

3．実践者名（代表者名）

増倉 初美

4．学年

2年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合・国語　４クラス　１３７人

6．単元（本時の学習課題）名

世界の中の日本

7．目標(狙い)

身近な事柄だけでなく、世界に目を向け、自分たちと同じくらいの年齢の人たちが置かれている状況を理解し、自分たちの生き方につなげる

8．評価の視点

選んだ記事の内容を要約し、自分の考えをわかりやすく伝えることができたか。（書く・スピーチ）

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

総合的な学習の時間「世界に目を向けよう」（ 国際理解）5時間
国語教科書三省堂「意見文を書こう」5時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

・新聞についての基礎知識を確認する。（1H）
・新聞記事から「紹介したい人」を選び、少人数グループで交流する。（1H）
・今、自分の興味ある記事を選び、文章にして少人数グループで交流し、自分の意見を友だちのプリントにき込む。（1H）
・「地球環境の変化」（特に温暖化）、または「世界の中の日本」というテーマでスクラップ新聞を作成する。（2H）
・新聞記者の講演を聞く。（1H）・振り返り（お礼）を書く。（1H）
・意見文「世界の中の日本」または「自分はどう生活していくべきか」で意見文を書く。（2H）
・意見文を発表する。（1H）‥グループまたは全体
（留意点）できるだけ人の考えに触れられるよう、また苦手意識のある生徒にはヒントとなるよう小集団グループを活用する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

記事を書いている記者に実際に話を問いたり、友だちの考えを聞く活動を通して、人の思いを受け止め、それに対して意見を伝えることができるようになった。きちんと受け止めることができるようになって書くことに自信が持てるようになったという感想もあった。

12．成果と課題

世界に目を向け、自分たちの生活をもう1度振り返ることができたのはよかった。まだまだ受け止めの弱い部分があるし、伝え方の工夫もさらに必要である。継続して新聞を活用し、生徒の力を思考力、表現力、コミュニケーション力を高めたい。